

アフリカ

第1節 はじめに

私の知っているアフリカ, 私の知らないアフリカ	1
-------------------------------	---

第2節 主題の追求A

■ 平和で安全な国をつくる(1) - 地域の歴史と政治を知ろう -	4
■ 平和で安全な国をつくる(2) - 地域の歴史と政治を捉える概念を知ろう -	6
■ 平和で安全な国をつくる(3) - 概念を通して地域の課題を知ろう -	8

第3節 主題の追求B

■ 豊かで安心な社会をつくる(1) - 地域の地理と経済を知ろう -	10
■ 豊かで安心な社会をつくる(2) - 地域の地理と経済を捉える概念を知ろう -	12
■ 豊かで安心な社会をつくる(3) - 概念を通して地域の課題を知ろう -	14

第4節 おわりに

私の分かったアフリカ, アフリカから見えてくる日本	16
---------------------------------	----

図版資料等の出典一覧

第1節 はじめに

私の知っているアフリカ、 私の知らないアフリカ



ねらい

アフリカについて、学習したいことをはっきりさせる。

学習課題

○ アフリカの自然と人々の暮らしには、どのような特色を見つけることができますか。アフリカの特色を、20字以内のキャッチフレーズで表現してみよう。



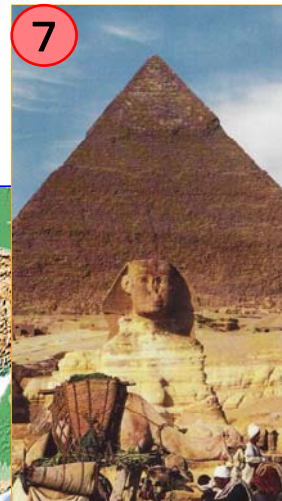
あなたのアフリカのイメージに近い写真はどれかな？
写真に写っている地域の地名や国名を調べよう。



1 海の沿岸



8 川の岸辺



7 の歴史遺産



2 砂漠



3 のカカオ農園



4 川の岸辺



6 の国立公園

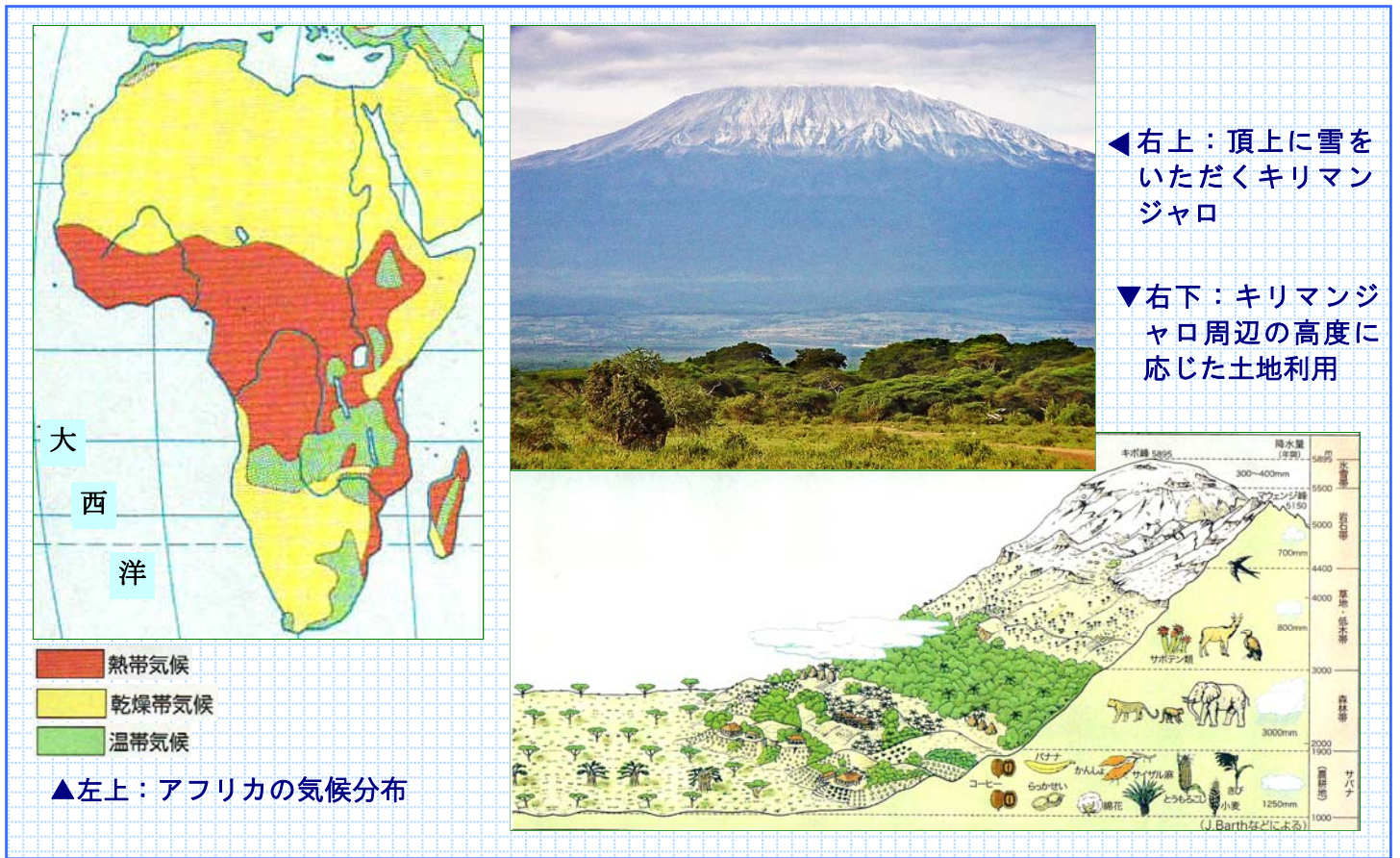


5 のぶどう園



I 私のアフリカ像 をふりかえる

1. あなたは、アフリカについてどのようなことを知っていますか。アフリカについてのあなたの印象や記憶を話さない。
2. 上の印象や記憶を手がかりにして、8枚の写真と地図上の位置(赤丸)を線で結びなさい。



A 赤道から南へ北へ移動する

アフリカ大陸の中心には、赤道が走ります。赤道から北と南に移動していくと、ベルト状に対照的な景観がみられます。

赤道直下のコンゴ盆地からギニア湾の沿岸にかけては、熱帯雨林が広がります。そこから南北へと移動すると、北にはサハラ砂漠、南にはカラハリ砂漠が広がります。さらに南北に移動すると、温暖な地域にたどり着きます。モロッコやアルジェリアなどの地中海沿岸には、ヨーロッパ風の町並みや果樹園がみられます。南アフリカの沿岸にも、同じような光景が広がります。

B 地表から上へ下へ移動する

アフリカは、高度差の大きな大陸です。もっとも低い地点はタンガニーカ湖の湖底です。深度は1,471mあります。もっとも高い地点は、赤道に近いキリマンジャロの山頂です。標高は5,895mあります。山頂には、年間を通じて積雪がみられます。

赤道付近でも雪が積もるのは、標高が100m上がるにつれて、気温が約0.5℃下がるからです。キリマンジャロの東のインド洋沿岸では、サトウキビが栽培されています。山麓を上がると、^{ろく}コーヒーの栽培がみられます。さらに内陸へ入ると草地が広がり、野生の象やライオンが生息します。土地利用の違いは、標高にも左右されています。



C 急速に発展する地域

- * B：ブラジル
- R：ロシア
- I：インド
- C：中国

同じアフリカでも、国民の所得水準でみると、格差が見られます。資源の豊かな南アフリカ・ナイジェリア・ガボンなどは、豊かな国々のグループに入ります。とくに南アフリカは、BRICS*と呼ばれる経済発展が著しい国の1つ (South Africa) に数えられることもあります。

貧しい国々でも、大都市に限ると、先進国と変わらない光景が広がります。都心には近代的なビルが建ちならび、外国産の高級車が走ります。電気や水道、インターネットも整備されています。

D 長生きできない地域

エチオピア・スーダン・モザンビークなどの国々は、貧しい国々のグループに入ります。これらの国々では、所得だけでなく寿命や識字率もきわめて低いため、後発開発途上国 (LDC) と呼ばれます。例えば、ソマリアやジンバブエの平均寿命は、30歳代です。



文頭や文末に「どのような?」「なぜ?」「なに?」「どうすべき?」などの言葉をつけると、問いをつくることができるね。

豊かな国々でも、都心から離れると、生活環境は大きく様変わりします。電気や水道が整備されていない農村では、薪集めや水くみのために、何キロも歩かなくてはなりません。たいていこれらの仕事は、子どもや女性に割り当てられています。

II 問題をつくり、予想を立てる

1. 教科書を読んで、あなたが「変だな」と思ったことはありませんか。変だなと思ったことを「問い」にしてください。
2. 問いに対する「答え」を、「予想」してみなさい。

第2節 主題の追求 A

平和で安全な国をつくる(1) —地域の歴史と政治を知ろう—

ねらい

主題に関して、地域の**具体的な事実**を知る。
(事実の習得と活用)

学習課題

アフリカでは、どこで、どのような紛争が起きているだろう？

これを学ぶと…

アフリカの紛争の**歴史的な経緯**と、現在のようすが分かります。

学習する地域



A 区切られたアフリカの土地

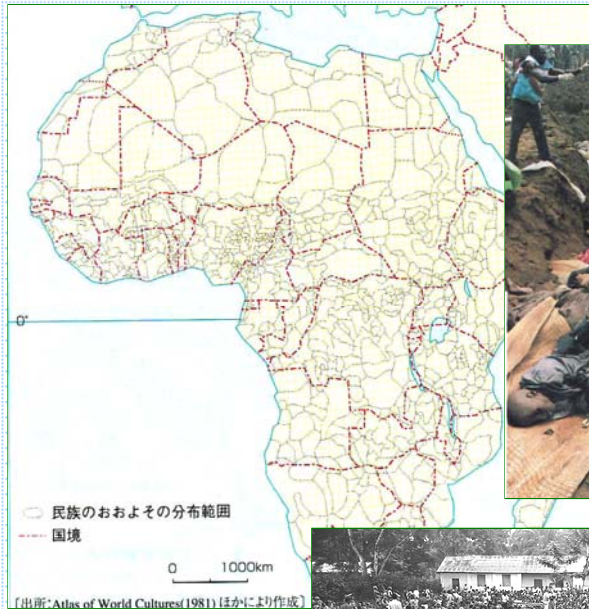
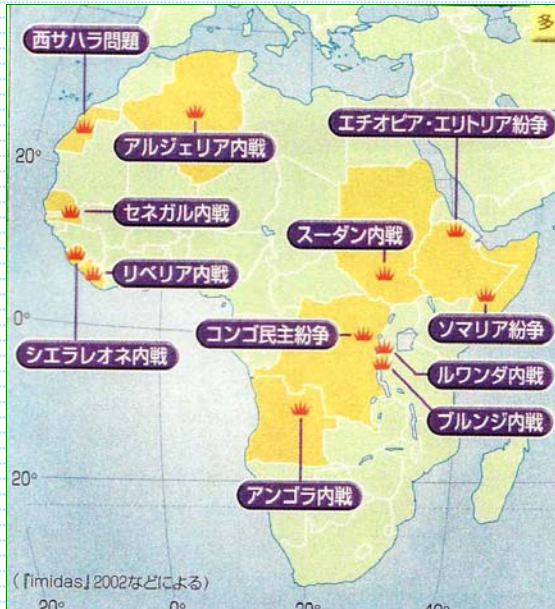
アフリカには、大小様々な国々が広がります。地図帳を見て気づくのは、不自然に直線で引かれた国境が多いことです。

例えば、エジプトの南と西の国境は、直線になっています。南は北緯 22 度、西は東経 25 度で、スーダンとリビアに接します。タンザニアという国を探してみましょう。タンザニアの北は、キリマンジャロという山を境にしてケニアと直線的に接します。西はタンガニーカ湖をはさんでコンゴ民主共和国と接します。これらの国境は、ヨーロッパの国々が、互いに相談してアフリカを分割していった名残です。

B 分類されたアフリカの人々

ヨーロッパの国々は、住民を登録し管理するために、生活や宗教などの違いを基準に、人々を分類していきました。その結果、同じ国内にも、たくさんの民族が作り出されました。

アフリカでもっとも人口の多いナイジェリアには、250 ほどの民族が暮らします。代表的な民族は、ハウサ・ヨルバ・イボです。これらの民族が敵対したビアフラ内戦では、100 万人を超える餓死者を出しました。ルワンダでは、ツチとフツの間で対立が起きました。長く支配される側に置かれてきた貧しいフツは、支配する側の豊かなツチを 100 万人近く虐殺したといわれます。



- ▲左上：アフリカで発生している紛争
- ▲中上：アフリカの詳細な民族分布
- ▶右上：ルワンダ内戦で犠牲になった子ども
- ▶右下：ピアフラ内戦で生き延びて、難民になった子ども
- ▼下：アフリカを取り上げた3本の映画

I 地名の位置を調べる

1. 左の地図に、下の地名の位置を書き込みなさい。
エジプト、スーダン、リビア、タンザニア、ケニア、キリマンジャロ、タンガニーカ湖、ナイジェリア、ルワンダ

II 事実を比較・分類する

2. 2つの国境のタイプについて、それぞれの事例を示しなさい

国境のタイプ	接している国	直線の傾き・方角
直線で区切られた国境	と	
	と	
国境のタイプ	接している国	川や湖の名前
自然で区切られた国境	と	
	と	

3. コンゴ紛争ならびにピアフラ紛争について調べて、対立関係を整理しなさい。

民族	人口の割合	おもな仕事	宗教	社会的地位
フツ				
ツチ				
ハウサ				
ヨルバ				
イボ				

III 評価を論述する



4. 下の映画は、どこの、どのような事件・出来事を描いているか、調べなさい。また映画を1つ選んで、作品の紹介パンフレット(おすすめの理由を含める)をつくりなさい。

作品名：『ホテル・ルワンダ』、『ブラックホーク・ダウン』、『ブラッド・ダイヤモンド』

第2節 主題の追求 A

平和で安全な国をつくる(2) —地域の歴史と政治を捉える概念を知ろう—

ねらい

地域の事実を説明する一般的な理論を知る。
(概念の探求と活用)

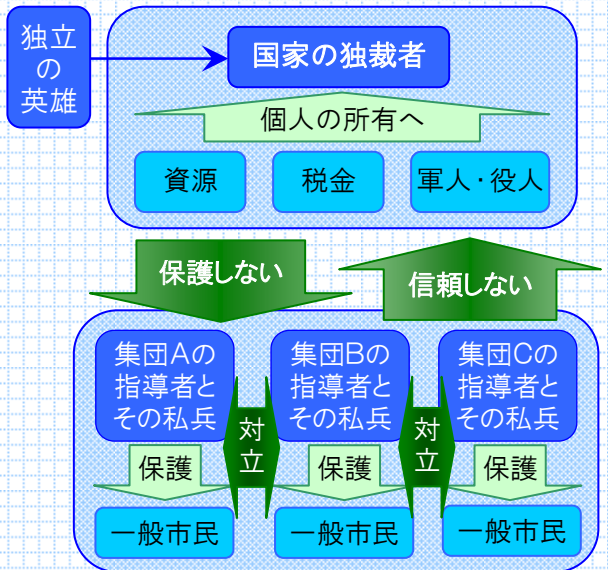
学習課題

アフリカでは、どうして紛争が起きているのでしょうか？理由を説明しよう。

これを学ぶと…

アフリカ各地で紛争が起きている理由が、①歴史(植民地支配の名残)と②政治(失敗国家のしくみ)の2つの視点から分かります。

学習の見取り図



A 植民地からの独立国家

イギリスやフランスなどのヨーロッパ諸国は、長くアフリカを植民地として支配してきました。各国は、お互いの利権を調整するために話し合いをもち(1884-85年:ベルリン会議)、アフリカを分割してきました。ヨーロッパは、アフリカを農産物や工業原料の供給地として、また製品を売る市場として利用したのです。

第二次世界大戦後、自立をのぞむ人々の希望を尊重すべきという国連の宣言にもとづいて、多くの植民地は独立を果たします。独立は1960年にピークに達しました。



B 独立からの失敗国家

独立したばかりのアフリカ諸国には、政治や教育のしくみが整っていません。大半の国では、独立の英雄となった軍人が大統領に就いて独裁的な政治を行いました。独裁者は、国家を私物のように扱い、安全・教育・医療などの公共サービスの提供を後まわしにします。政府の役人や軍人も管理できません。公務員に給料が支払われなくなると、汚職がはびこり、治安は悪くなり、社会は秩序を失います。このように国民を守ることをできない国家を、失敗国家といいます。

失敗国家に、「法の支配」はありません。武器と兵士をにぎる各地の指導者が、勝手に検問をしたり、税をとったり、軍隊をつくったりする「人の支配」になっています。



- ▲左上：セシルローズを描いたイギリスの風刺画
- ▲中上：失敗国家ランキング（平和基金会 The Fund for Peace の発表）
- ▶中下：ジンバブエのレストランでの支払い

1位	ソマリア
2位	スーダン
3位	ジンバブエ
4位	チャド
5位	イラク
6位	コンゴ民主共和国
7位	アフガニスタン
8位	コートジボアール
9位	パキスタン
10位	中央アフリカ
...	
15位	北朝鮮
163位	日本
177位	ノルウェー

▶右上：ジンバブエの大統領にムガベが5回連続当選したことを伝える新聞記事

ランキング表からアフリカの国を探して、印をつけてみよう！

ジンバブエ・ハラレで29日、大統領選決選投票を伝える地元紙を読む人々＝AFP時事

「独立の英雄」独裁者に

白人が支配した英領南ローデシア（現ジンバブエ）で生まれたムガベ氏は、南アフリカの大学を卒業後、80年に解放運動に加わった。約10年の獄中生活後、白人強硬政権に対するゲリラ闘争で指導者としての頭角を現した。80年のジンバブエ独立で首相になり、87年の共和移行で大統領に就任。当初、白人との融和政策を推進し、「独立の英雄」と国内外で称賛された。だが、在任期間が長期化するにつれ、政権では汚職が横行。90年代後半、英米の援助打ち切りで財政が行き詰ま

汚職横行、超インフレも



I 言葉の意味を調べる

- 下の出来事・用語の意味を確かめなさい。
植民地, ベルリン会議, 独裁(者), 失敗国家, 人の支配

II 事実を例示する, 説明する

- ヨーロッパの植民地支配のようすを、白地図に色分けしなさい。ヨーロッパの大国は、どこの地域を支配していたか。現在の国名と、植民地のおおよその分布を説明しなさい。

昔の支配国	現在の国名	植民地の分布
イギリス (赤)		
フランス (青)		
ベルギー (ピンク)		
ドイツ (黄)		
ポルトガル (緑)		

- セシルローズの絵の意味を、下の点に注意して説明しなさい。
人物の服装・持ち物, 地面の形, 足下の位置, 手にしている線

III 理論を応用する

- ルワンダの紛争が長くつづき、また解決が難しかったのはどうしてだろう。失敗国家の視点から、理由を説明しなさい。
- 失敗国家ランキングの上位から1ヶ国を選びなさい。その国の状況を調べて、課題を箇条書きにしなさい。このような情報を読み取る時、とくに私たちが注意すべきことは何だろう。

第2節 主題の追求 A

平和で安全な国をつくる(3) —概念を通して地域の課題を知ろう—

ねらい

一般的な理論を通して、**具体的な課題**を知る。
(概念の活用)

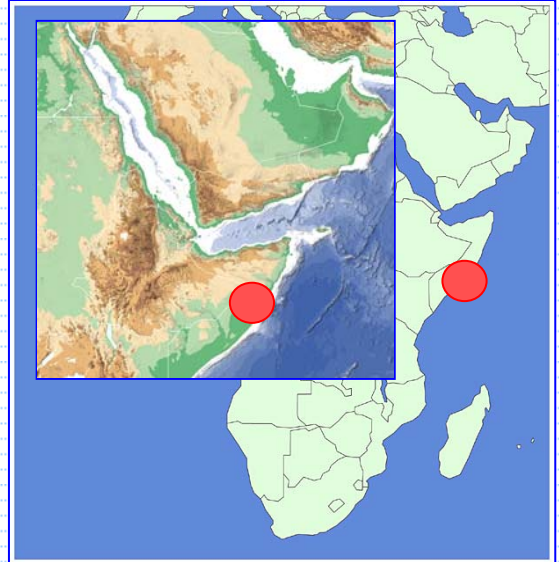
学習課題

ソマリアでは、どうしてたくさんの銃や兵があふれているのだろう？

これを学ぶと…

私たち人類が、協力して解決していかななくてはならない**アフリカの課題(紛争)**とその解決の難しさが分かります。

学習する地域



A 大統領が市長？

ソマリアは、大陸の東部に位置し、インド洋とアデン湾に面します。国土の形から「**アフリカの角**」とも呼ばれます。

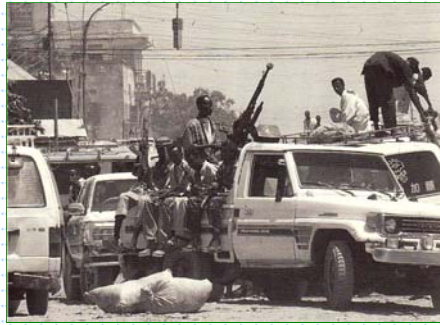
この地域には自称「ソマリア民主共和国」を名乗る政府が存在しますが、国全体をコントロールできているわけではありません。事実上、首都モガディシオの周辺にしか権力が及んでいません。したがって、大統領は、「モガディシオ市長」に過ぎない、と言われていています。アフリカの統計や年鑑を開いてみましょう。ソマリアのデータは、ほとんどの項目で空欄になっています。

B 銃と兵士があふれる社会

ソマリアは、かつてイギリスとイタリアの植民地でした。1960年に独立を果たします。しかし、第3代大統領のバーレが、エチオピアと戦争を始めたり、特定の民族の出身者だけを重要な役職につけたりすると、人々の不満は高まりました。政府と反対派の間で内戦が始まると、治安はますます悪くなりました。

今日では、各民族の指導者が私兵を使って自分たちの住む地域を支配しています。食糧や薬などの支援物資を送っても、市民にまで届かず、途中で無くなったり奪われたりすることもあります。ソマリアは、政治的(縦)にも空間的(横)にも分断された国家になっています。

▶中上：
モガディシオの
市街地
▼左下：
ソマリアにあふ
れる銃



ソマリア沖に海賊多発

出稼ぎ比人船員受難

3カ月で人質100人超

【マニラ】松井健「船員大団」のフィリピンがアフリカ東部のソマリア沖で多発する海賊被害に悲鳴を上げて、襲われる船の所有者は世界中に広がるが、実際人質に15日、ソマリア沖のアデン湾で韓国貨物船が海賊に襲われ、フィリピン外務省によくと、乗組員21人全員がフィリピンは毎年100万人以上が海外に働きに出か、その送金が国内総生産(GDP)の1割に上るとき「出稼ぎ大団」とりわ

が襲撃時に死。その後、8人が解放されたが、4名の船人が人質になったまま、

バーレ政権は鉄道や道路の整備をほとんどしていない。病院や学校の建設といった国づくりにも熱意を示さなかった。ソマリアは部族価値観の強い社会だが、国庫の金は部族の支持を取り付けるためのわいろ代わりに使われた。…中略…

政府が崩壊すると、住民はまず軍の武器庫を襲う。警察のない無政府状態で、頼りになるのは銃だけだった。人々は持てるだけの銃を略奪する。…10万丁が国中にあふれた。

松本仁一『カラシニコフ』朝日新聞社

▲中下：トラックに銃をのせて市街地を走る私兵

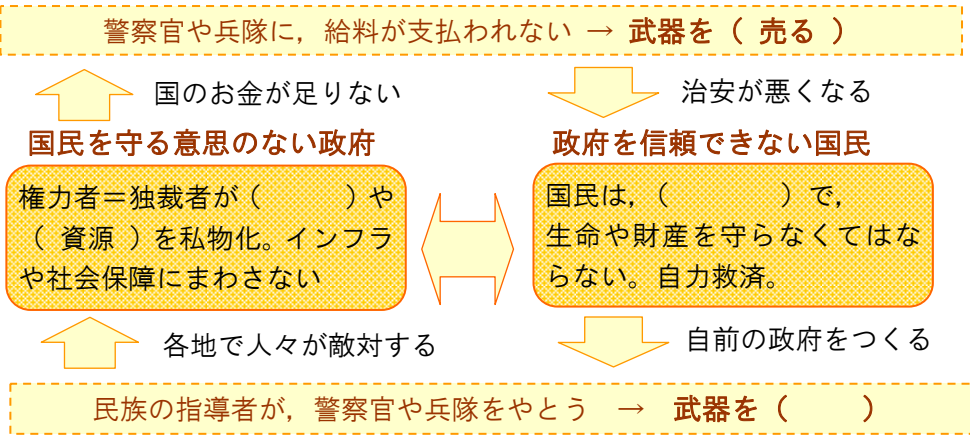
▲右上：ソマリア沖で海賊の発生を伝える新聞記事

I 地名・言葉の意味を調べる

1. 左の地図で、下の地名の位置を確かめなさい。また下の人物・用語の意味を確かめなさい。
ソマリア, モガディシオ, アデン湾, バーレ, 私兵, 内戦, 海賊

II 原因・影響を推論する

2. ソマリアの統計には本当に空欄が多いか、確かめなさい。また、空欄になってしまう理由を説明しなさい。
3. なぜソマリアには銃と兵があふれているのか。理由を、下の図を完成させて説明しなさい。



III 意見を主張する

4. これまで「アフリカの様々な問題の原因は植民地支配にある」と言われてきました。あなたはこれに納得しますか。
納得できるときは、その理由を述べなさい。納得できないときは、理由を示して反論しなさい。

資料3-1 資源と人権

豊かで安心な社会をつくる(1) —地域の地理と経済を知ろう—

ねらい

主題に関して、地域の**具体的な事実**を知る。
(事実の習得、事実の活用)

学習課題

アフリカでは、人々の生活や国を立てなおすために、
どのような対策を行っているだろう？

これを学ぶと…

アフリカの**経済開発の取組**と、**開発にむけたグローバルな交流**が分かります。

学習する地域



A モノの貿易でか せぐ

アフリカの国々が医療や教育を充実させるためには、経済的な裏づけが必要です。工業化が進んでいないこれらの地域では、農作物や天然資源の輸出で利益を得てきました。

例えば、ナイル川やニジェール川の流域では、綿花や落花生の栽培がさかんです。ギニア湾の沿岸では、チョコレートの原料となるカカオが生産されます。天然資源では、南アフリカの金やダイヤモンド、コンゴ・ザンビアの銅、ナイジェリアの石油などが有名です。これらの資源は、かつてこの地を支配していたヨーロッパ諸国が開発しました。1990年代以降は、新たにアンゴラやガボン、スーダンでも石油が開発され、これらの国々に貴重な収入源をもたらしました。

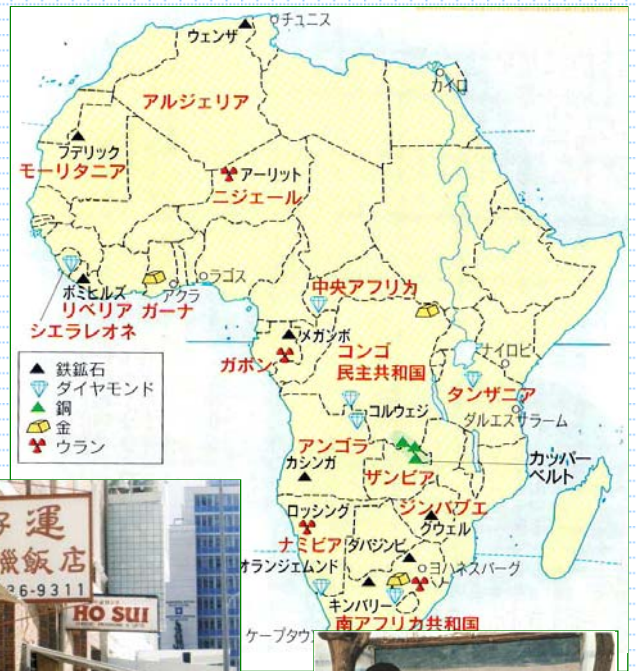


B ヒトの交流を深 める

天然資源を開発し、産業をおこすには、優れた知識・技能をもった人材が欠かせません。アフリカは、先進国から資金や技術者を受け入れてきました。近年アフリカに高い関心を寄せているのが、中国です。今では10万人以上の中国人が、アフリカで生活しています。

日本の青年海外協力隊は、約3割がアフリカへ派遣されています。政府は、アフリカの留学生の受け入れにも積極的です。年間約1,000人の留学生が、日本の高い技術や文化を学んでいます。

国名	人口 (千人)	1人当たり 国民総所得 (ドル)*1	総輸出額に占める 主要輸出品割合(%)*2		主要輸出品 (1997年)	
			50	100%		
アルジェリア	30,291	1,550	原油 40.6%	石油ガス 39.9%	石油製品 (1997年)	
エジプトアラブ	67,884	1,380	石油製品 24.8	原油 17.1	— 綿糸 7.2 (1997年)	
エチオピア	62,908	100	コーヒー豆 70.7	8.4	— 皮革 (1997年)	
ガーナ	19,306	400	金 37.5	カカオ豆 29.9	9.4	— 木材 (1997年)
ケニア	30,669	360	茶 20.0	14.0	— コーヒー豆 (1997年)	
コートジボワール	16,013	670	カカオ・カカオ豆 97.2	—	— コーヒー豆 7.0 (1997年)	
コンゴ民主	50,948	110	ダイヤモンド 21.1	12.5	11.0	— コーヒー豆 — コバルト (1994年)
ザンビア	10,421	330	銅 49.3	17.7	—	— コバルト (1997年)
ナイジェリア	113,862	260	原油 97.3	—	—	(1995年)
ニジェール	10,832	190	ウラン鉱 48.8	—	—	(1996年)
南ア共和国	43,309	3,170	14.7	ダイヤモンド	鉄鋼 6.8	石炭 6.9 (1997年)
リベリア	2,913	973	鉄鉱 51.0	天然ゴム 26.0	—	(1989年)



- ▲左上：アフリカ各国の主要輸出品の割合
- ▶右上：アフリカの鉱産資源の分布
- ▶中下：ヨハネスバークのチャイナ・タウン
- ▶右下：セネガルで活躍する青年海外協力隊

I 地名の位置を調べる

1. 左の地図に、下の地名の位置を書き込みなさい。
ギニア湾、南アフリカ、アンゴラ、ガボン、スーダン、コンゴ

II 事実を比較・分類する

2. 地図帳で、下の鉱産資源の生産国を調べて、表に整理しなさい。
アフリカの国には、線を引いて目立つようにしなさい。

鉱産資源	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	その他
ダイヤモンド						
ウラン						
金						
銅						

3. 外務省のホームページで、政府はアフリカにどのような援助(ODA)をしているか調べなさい。1ヶ国を選び、分野別に援助の例をまとめなさい。

国名	分野	援助の例
	ダム・発電	
	水道・道路	
	医療・教育	
	食料	
	その他	

III 意見を論述する

4. あなたにとって、「豊かな」生活とはどのようなものですか。「これぞ豊かさの条件！」を3つ挙げなさい。みんなの前で、自分の考えた条件とそれを選んだ理由を発表しなさい。

資料3-2 資源と人権

豊かで安心な社会をつくる(2) —地域の地理と経済を捉える概念を知ろう—

ねらい

地域の事実を説明する一般的な理論を知る。
(概念の探求, 概念の活用)

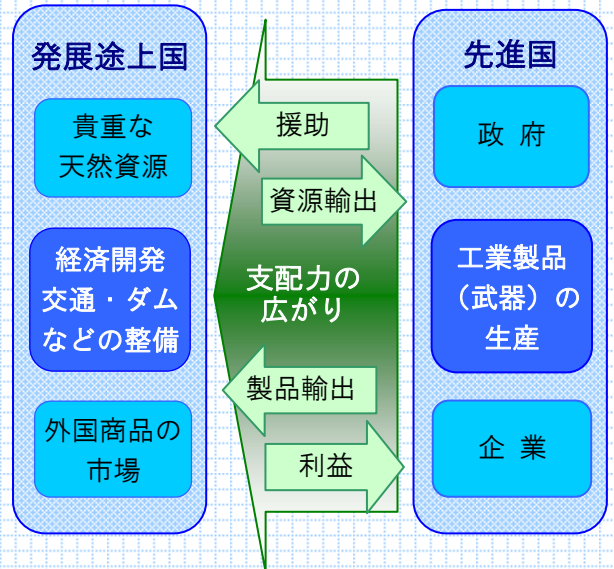
学習課題

アフリカで行われている生活・国の立てなおし策は成功するだろうか? 結果を予想しよう。

これを学ぶと…

アフリカのゆくえが, ①地理(資源開発による自立的発展)と②経済(自立をこぼむ新植民地主義)の2つの側面から分かります。

学習の見取り図



A 天然資源の輸出 で自立する

天然資源は, 世界に均一に分布しているわけではありません。幸いにして鉄や石油などの天然資源に恵まれた地域は, それを必要とする地域へ輸出することで, 利益を得ることができます。

近年では, 携帯電話などの電子製品や建設材に使われる, 産出量のきわめて少ない金属(レアメタル)が注目されています。例えば, タングステン, モリブデン, ニッケルなどです。これらの産出国は, 輸出「量」をコントロールしたり, 輸出「先」を限定することで, 世界に影響を与えることができます。



B 援助を受けて支 配される

世界の企業は, 貴重な天然資源の採掘や販売の権利を得ようと努力しています。資源を独占できれば, 利益も大きくなるからです。

そこで企業は, 資源をもっている国に様々な働きかけを行います。また, 企業の母国政府も, その働きかけを支援します。例えば, 資金や技術の援助です。援助には, 鉱山の開発だけでなく, 鉄道・道路・ダム・通信網の整備なども含まれます。援助を通じて友好関係が深まれば, 必要な資源を得やすくなるし, 自国の工業製品を売りさばくこともできます。このように武力ではなく, 援助を通じて天然資源の産出国から利益を得ることを, 新植民地主義といいます。

鉱物名	産出に占めるアフリカの割合		おもな用途
金	1980年	アフリカ 57.4%	断熱材、電気機器の接点、 歯科医療、装身具
	1995年	31.8	
ダイヤモンド	1980年	70.9	装身具、研磨剤、ドリル、 ボーリング用ビット
	1995年	42.8	
クロム	1980年	42.1	スーパーアロイ(原子炉材、 航空機部品)、構造用合金
	1995年	48.4	
コバルト	1980年	67.0	スーパーアロイ(ジェット エンジン部品)、磁性材料
	1995年	35.1	
バナジウム	1980年	29.6	超電導材料、高張力鋼(パイ プライン等)、触媒
	1995年	45.7	
マンガン	1980年	31.2	鋼、非鉄合金、 乾電池(減極材)
	1995年	25.0	

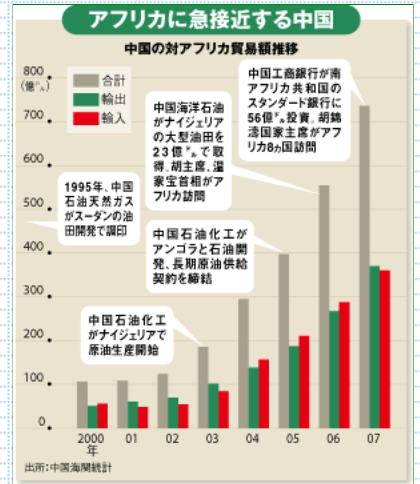
▲左上：
主な鉱産資源の産
出に占めるアフリ
カの割合

▶左下：
アフリカの経済状
況を描いた風刺画



▶右上：
アフリカと中
国との貿易額
の推移

▶右下：
ジンバブエの
大統領と中国
の国家主席の
会談



アフリカから
遠く離れた中
国が、どうし
てアフリカに
関心をもっ
ているのかな？



I 言葉の意味を調べる

1. 下の出来事・用語の意味を確かめなさい。
天然資源、レアメタル、援助、新植民地主義

II 事実を例示・説明する

2. 携帯電話にどのような金属(天然資源)が使われているだろうか。
インターネットで調べてみなさい。

3. アフリカの国々にとってレアメタルが重要な理由を、下の点に注意して、説明しなさい。

資源の分布、産出量、用途(使い道)、輸出先

4. 以下の写真は、ナイジェリアの市民の発言です。吹き出しに入る言葉を予想しなさい。

石油資源大臣：

「将来は明るいですよ。なぜなら、石油が出るおかげで……ですからね。安心してください！」



子どもの母親：

「将来が不安でなりませんよ。なぜなら、石油は出るけど……ですから。子どもの生活はどうなるんだろう。」

III 理論を応用する

5. スーダンの「ダルフール紛争」について調べなさい。解決が難しい理由を、資源と援助の2つの側面から箇条書きにしなさい。

ねらい

一般的な理論を通して、具体的な課題を知る。
(概念の活用)

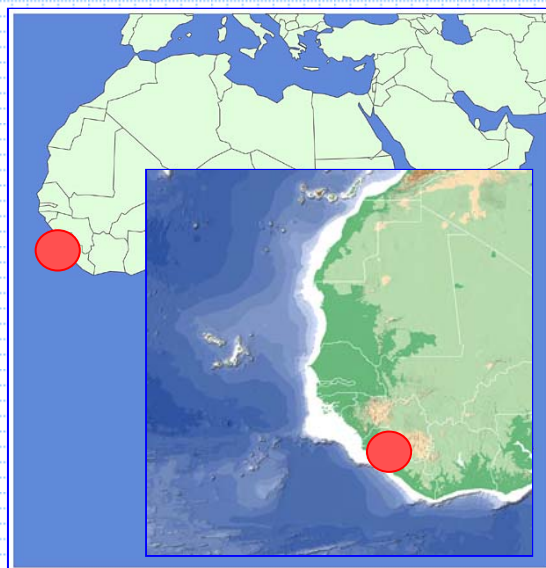
学習課題

シエラレオネに安心して生活できる社会をつくるには、どのような取組が必要だろう？

これを学ぶと…

アフリカと世界の人々が、協力して解決していかななくてはならない課題(復興)とその解決の難しさが、分かります。

学習する地域



A 世界一、寿命が短い

シエラレオネは、ギニア湾の西に位置します。かつては米づくりの盛んな農業地帯でした。しかし、1990年頃頃から内戦が激しくなり、自分たちの食料さえ得ることが難しくなりました。シエラレオネは、世界でもっとも平均寿命の短い地域として知られます。生まれてから6歳まで成長できる子どもは、5人に1人です。

B ダイヤを輸出して武器を輸入する

10年以上も内戦が続くことになったのは、この地域でダイヤモンドが採れたからです。政府も、それに対抗する勢力も、ダイヤモンドをこっそり外国へ売ることによって資金を稼ぎ、武器を買い入れました。従順な兵士を育てるため、子どもを誘拐して訓練することもありました。兵士のなかには、敵兵の手足を切断して、将来の仕事や未来への希望を奪おうとする者もいました。

C 生活の立ち直りの難しさ

この内戦に対して世界の対応は遅れがちでした。国連が呼びかける停戦も、なかなか実現されませんでした。一方で、紛争地域で採れたダイヤモンドの取引が禁止されるなどの成果もありました。

2002年、長く続いた内戦は終わりを迎えます。しかし、土地には、身心に傷を負った若者、荒れ果てた農地、そして壊された道路や学校が残されました。シエラレオネの復興には、時間がかかりそうです。

▶左上：
シエラレオネ
のダイヤモンド
の採掘



▶左中：
「アムネステ
ィー・インター
ナショナル」が
作成したダイ
ヤモンド取引
のモデル図

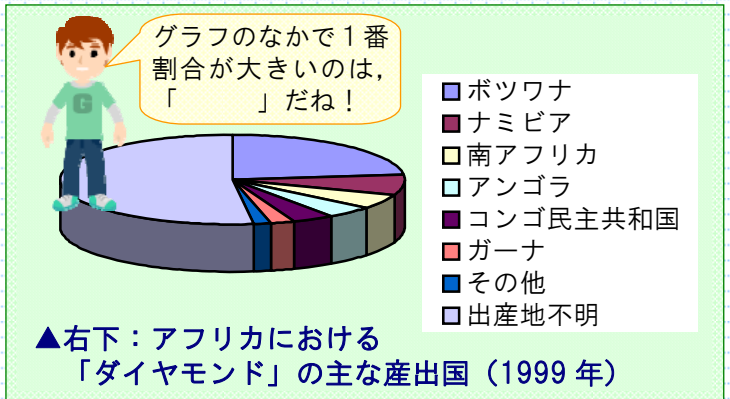


▼左下：
紛争ダイヤモ
ンドとは

紛争が起きているところで産出され、武器を買うための資金となっているダイヤモンドを、「紛争ダイヤモンド」といいます。現在ダイヤモンドの取引には、産地の証明が必要となっています。



▲右上：シエラレオネにおける子ども兵の訓練



▲右下：アフリカにおける「ダイヤモンド」の主な産出国（1999年）

I 地名・言葉の意味を調べる

1. 左の地図で、下の地名の位置を書き込みなさい。また下の人物・用語の意味を確かめなさい。

シエラレオネ、ギニア湾、紛争ダイヤモンド、子ども兵

II 原因・影響を推論する

2. ダイヤモンドの輸出統計（1999年当時）で、「出產地不明」がもっとも多いのはなぜか。原因を予想しなさい。

3. なぜシエラレオネの平均寿命は短くなったのか。理由を、以下の図を完成させて説明しなさい。

国内の権力者

- ・自分たちの勢力を広げたい
- ・戦いに必要な（ ）を買う
- ・外国に（ ）を売る

外国の政府・企業

- ・自分たちの利権を広げたい
- ・自国で作った（ ）を売る
- ・相手国の（ ）を買う

- ・大人も子どもも、兵隊になる
→（ ）で負傷する
- ・内戦で、農地が荒れ果てる
→（ ）が不足する
- ・医療や衛生サービスは後回し
→（ ）の死亡率が上がる

平均寿命は短くなる

III 意見を主張する

4. しばしば「経済の発展には、貴重な資源をもっている国が有利」と言われます。あなたはこれに納得しますか。

納得できるときは、その理由を述べなさい。納得できないときは、理由を示して反論しなさい。

第4節 おわりに

私の分かったアフリカ、 アフリカから見えてくる日本



ねらい

アフリカについて学習したことを、日本やアジアの理解に役立てる。

学習課題

- アフリカと日本には、どのようなつながりや、似たところ・違うところがあるだろう。
- アフリカの地域的な特色を、地理・歴史・政治・経済の各視点からまとめよう。

I 予想を確かめる

1. 下の図を使って、最初に立てた「問い」に対する「答え」をまとめなさい。最初の「予想」と現在の「答え」は同じですか。

最初に立てた「問い」は、

① 歴史の視点から見ると (pp.4-9)

② 政治の視点から見ると (pp.4-9)

③ 地理の視点から見ると (pp.10-15)

④ 経済の視点から見ると (pp.10-15)

総合的に判断して、
「答え」は…

①～④のなかで、もっとも重要な視点は、() です。
なぜなら () だから。

II アフリカと日本の 接点を見つける



アフリカの印象は、
学習の前と後では、
どのように変わりましたか？
これまでに学習したことは、
どういうときに役立つだろうか？

2. 江戸時代のはじめ、長崎の出島にはアフリカ出身の人々が住んでいたと考えられています。なぜだろうか。
3. 日本は、それほど天然資源に恵まれていません。天然資源の貧しさは、日本にとって、どのようなメリットとデメリットがあっただろう。あなたの考えを述べなさい。
4. 日本の近隣には、「失敗国家」といえる国があるだろうか。あるならば、その国が失敗国家といえる理由を説明しなさい。
5. 私たちはアフリカの人々とどのように付き合っていけばいいだろう。政府がすべきことと、私にできることを、短文にまとめなさい。
6. アフリカの学習で、とくに驚いたこと、気になったことは何ですか。具体的に紹介しなさい。